花苗ワンポイントアドバイス

第３回

デイジー

日本ではヒナギクとも呼ばれ、多くの人々に親しまれています。デイジーは冬から春にかけて次々と花を咲かせるため、長く開花を楽しめるのが魅力です。土が乾いていたら、たっぷりと水を与えてください。とくに鉢植えは地植えよりも水切れしやすいため、土が乾いていないか頻繁に確認しましょう。地植えの場合は、降雨に任せても問題ありません。

パンジー

冬の花壇を飾る定番の植物です。耐寒性に優れ、５月頃まで楽しむことができます。最近の品種は、ロングランタイプで、低温期でも休むことなく咲き続けます。肥料は適量を、適時与えてください。過湿を嫌うので、土が乾くのを待って潅水してください。花が終わり、種が付くと株弱りの原因になり、開花も鈍ります。こまめに取り除くようにしてください。

ビオラ

パンジー同様、冬の花壇の定番です。耐寒性に優れ、５月頃まで楽しむことができます。ハンギング、寄せ植えなど、多様な使い方に対応できます。肥料は適量を、適時与えてやれば、春まで休むことなく咲き続けます。過湿を嫌うので、土が乾くのを待って潅水してください。花が終わり、種がつくと株弱りの原因になり、開花も鈍ります。こまめに取り除くようにしてください。

ノースポール

マーガレットに似た白い小さな花を咲かせるノースポール。可憐（かれん）な見た目に関わらず、非常に丈夫で育てやすい植物です。日当たりの良い場所でやや乾かし気味に管理すると長くたくさん咲きます。暑さに弱い一年草なので、冬～春メインの花として育てます。